

令和 6 年能登半島地震・令和 6 年奥能登豪雨復興支援事業

「ひと、能登、アート。」

アート
文化財がつなぐ。Art for the Noto Peninsula

2025 年秋、石川県内の 3 館で開催

2024 年 1 月に発生した能登半島地震からまもなく 1 年を迎えようとしています。また 9 月には奥能登地域において豪雨災害が発生しました。被災した人々に寄り添い、心を癒し励ますため、東京国立博物館（東京・上野公園）が中心となり、東京所在の各文化施設に呼び掛けて、所蔵する文化財に復興への祈りを込めたメッセージを託す事業を実施します。

本事業は、東京所在の美術館・博物館が連携し、本事業趣旨に賛同する各館が自ら選んだ、復興を支援する想いを込めた文化財を石川県金沢市内各施設で展示する展覧会を 2025 年秋に開催するものです。また能登に生まれた桃山絵画の巨匠・長谷川等伯の国宝「松林図屏風」を題材とした映像コンテンツ事業や教育普及事業を石川県内で開催を予定しております。

数百年の時を重ねて大切に守り伝えられてきた文化財の数々は、自然災害が絶え間なく襲う日本において、時に人々の安らぎの心を求める強い祈りが込められて造られてきたものです。そうした想いの詰まった文化財を、被災された皆様への励ましのメッセージとすることを本事業では目指します。



【開催概要】

■ 会期・会場：

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| 2025 年 11 月 15 日（土）～12 月 21 日（日） | 石川県立美術館 |
| 2025 年 12 月 13 日（土）～2026 年 3 月 1 日（日） | 金沢 21 世紀美術館 |
| 2025 年 12 月 9 日（火）～2026 年 3 月 1 日（日） | 国立工芸館 |

■ 主催：石川県立美術館、金沢 21 世紀美術館、国立工芸館、石川県、金沢市、東京国立博物館

【各会場での主な展示作品】

本事業にご賛同頂いた東京所在の美術館・博物館から、励ましの想いとメッセージが込められた文化財の出品を受けて展示を構成します。東京国立博物館からも、当館を代表する文化財を多分野にわたり出品いたします。

石川県立美術館 会期：2025年11月15日～12月21日



重要文化財 湖畔 黒田清輝筆
明治30年（1897）



見返り美人図 菱川師宣筆
江戸時代・17世紀



重要文化財 老猿 高村光雲作
明治26年（1893）
シカゴ・コロンブス世界博覧会事務局寄贈

金沢21世紀美術館

会期：2025年12月13日～2026年3月1日



寒山拾得
≪2023-06-27≫
横尾忠則 2023年

国立工芸館

会期：2025年12月9日～2026年3月1日

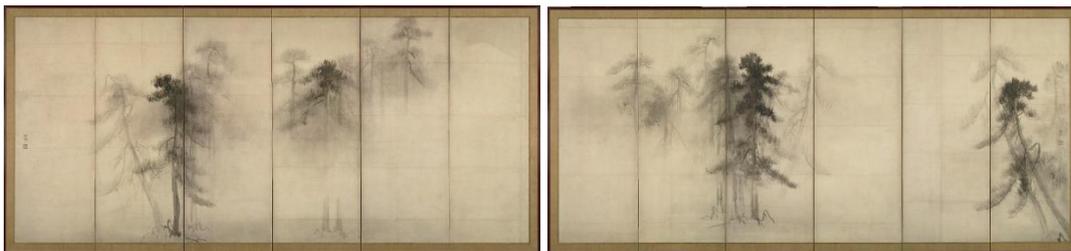


重要文化財 色絵月梅図茶壺
仁清 江戸時代・17世紀

【国宝「松林図屏風」を題材とした映像コンテンツ事業+教育普及事業】

多くの人々を魅了する国宝「松林図屏風」は能登・七尾の地に生まれた長谷川等伯によって描かれました。

この能登の地とも縁の深い作品を通じて、被災された皆様へ復興への祈りを届けられるよう、石川県内各地で本作品を題材とした映像コンテンツ事業や、高精細複製品を用いた教育普及事業の開催を予定しております。



国宝 松林図屏風
長谷川等伯筆
安土桃山時代・16世紀

※掲載の作品はすべて東京国立博物館蔵

【本件に関するお問合せ】

「ひと、能登、アート。」広報事務局（共同PR内） 担当：三井

E-mail. hito-noto-art-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382 / FAX. 0120-653-545